

2014年(平成26年)7月6日(日曜日) 頁 壹

# 薬の治療成績向上

## 関節リウマチ



行岡正雄 行岡病院長

「薬が効いても油断せず、不規則な生活はしないように」と話す行岡院長(大阪市北区で)



関節リウマチは、根治療法がまだ確立されていないものの、近年は治療効果の高い薬が普及し、患者の生活の質も改善してきた。行岡病院(大阪市北区)の行岡正雄院長に、治療のポイント

# 「規則正しい生活を」

トなどを聞いた。(阿部健) — 症状や病気の特徴

「主な症状は、関節の腫れや痛み、変形です。抗リウマチ薬や生物学的製剤などの登場で、関節破壊の進行を抑えられるようになり、治療成績は飛躍的に向上しています。老化による変形性

関節症などと症状は似ていますが、治療法が異なるので、まずは正しい診断を受けることが大切です」  
 「人工関節はかなり長持ちするようになります。緩んでくることがあります。また、関節の変形が進んでいたり、骨がもろくなっていたり、筋力が落ちたりしている状態では、人工関節を用いても、思い通りの効果が得られないことがあります。置換手術はタイミングよく行うべきです」  
 「リハビリの注意点に、関節を曲げ伸ばしする、筋力をつけるといった適度の運動が大切です。ただし、やり過ぎには注意してください。入浴中や風呂上がり時のように、体が温まった状態なら、動く時の痛みが軽くなります。水中歩行や水中運動は、浮力によって関節の負担が減るので、お勧めです」  
 「日常生活で心がけるべきことは、慢性的なストレスは、体内で炎症を抑えるホルモンの分泌を妨げます。睡眠不足も痛みを引き起こすので、できるだけ避けましょう。リウマチは決して恐ろしい病気ではありません。患者さんの大半は薬を飲みながら、一般の人とほぼ変わらない生活を送っています。怖がらず、心配せずに規則正しい生活を送ってください」

# 痛み治まればリハビリ

今回は「関節リウマチ」の治療を取り上げる。外敵から体を守る免疫の異常が原因で関節が炎症を起こして痛む病気だ。一覧表には、医療機関ごとの「新規患者数」「生物学的製剤を使った患者数」「人工関節置換術件数」「自施設などでリハビリを受けた患者数」を掲載した。

関節リウマチ治療の3本柱は、薬物療法、手術、リハビリだ。それぞれの治療を受けた患者数や件数は施設で差がある。医療機関を選ぶ際の参考にしたい。

このうち、治療の基本は薬物療法だ。免疫の働きを

抑えるメトトレキサートなどの「抗リウマチ薬」の飲み薬が用いられる。生物学的製剤は、抗リウマチ薬で病気の進行を抑えられない場合に使われる薬で、炎症を起こす物質の働きを妨げる。従来の薬では

不可能だった関節の破壊を止める効果がある。ただし、薬が高価で医療費が高くなるといふ問題がある。

人工関節置換術は、破壊された軟骨や骨を削り、金属やポリエチレンなどでできた人工関節に置き換えるものだ。関節の機能を回復させることも、痛みを軽減するのが狙いで、ひざや股のほか、足首、肩、手の指などの関節でも行われる。リハビリは、筋力を強くし、関節を動かせる範囲が

## 病院の実力「関節リウマチ」

医療機関別2013年治療実績(読売新聞調べ)

医療機関名	新規患者数(人)	生物学的製剤を使った患者数(人)	人工関節置換術件数(件)	自施設などでリハビリを受けた患者数(人)	備考
国・大阪南	668	36	65	175	
北野	582	—	4	—	
大阪赤十字	446	29	3	60	
大阪市大	432	46	30	148	
関西医大滝井	359	45	8	8	
近畿大	268	33	49	0	
市立堺	191	4	4	—	
行岡	185	30	63	34	
関西医大枚方	184	34	31	43	
NTT西日本大阪	160	50	25	0	
府立急性期・総合	160	22	17	44	
八尾徳洲会総合	153	50	4	53	
大阪医大	151	17	6	53	
近畿大堺	120	40	9	—	
南大阪	106	3	3	4	
大阪大	約100	約25	21	35	
淀川キリスト教	94	20	3	—	
府中	89	2	1	14	
千船	81	3	4	7	
府立呼吸器・アレルギー	74	21	0	0	
日生	60	4	2	5	
かわい	50	10	8	20	
高槻赤十字	46	8	12	2	
りんくう	44	10	8	20	
地・星ヶ丘	40	13	12	0	
東住吉森本	27	2	2	6	
関西電力	20	4	18	20	

「国・」は国立病院機構。「地・」は地域医療機能推進機構。「—」は無回答または不明。

\*全国の調査結果は「暮らし健康面」に掲載しています。